

東海市渡内コミュニティ防災講座

避難所の運営について

～ イザという時に備えて ～

日 時：令和2年2月22日（土） 19：00～20：00

場 所：東海市 渡内公民館 2階 会議室

主 催：東海市渡内コミュニティ

目 的：避難所を運営する際に、いろいろな問題点に直面した時、どのように対処したら良いか防災講座を通じ学ぶ。

参加者：避難所運営班 約40名

講 師：NPO法人愛知県防災士会 防災士

保坂 松男 （理事・常任顧問）

ファシリテーター：阿部

久しぶりに雨降りとなりました東海地方、夕方には青空が見える天気の中、渡内公民館におきまして、保坂講師から避難所運営に必要不可欠となる「イザという時に備えて」に関する防災講座を行いました。

当渡内コミュニティにおきましては、来る3月7日（土）午前9時を予定とした避難所運営訓練を実施するに当たり、総務班・名簿班・食料班・物資班・衛生班・救護班・屋外班・連絡広報班・民生班の各班員の方々がお集まりになり、設営されたテーブルに各々の班員が座り、中には仕事帰りでお疲れの方も含め防災講座を拝聴頂きました。

冒頭、渡内コミュニティ佐々木会長様より今年度第4回目の防災委員会開催に際し、挨拶をされた後、引き続き、保坂講師からパワーポイントと資料に基づき、防災講座に移らせて頂きました。

はじめに、「災害時の避難所とは」ということから、地域の人々の生命の安全の確保のため安



東海市渡内公民館



防災講座を始める保坂講師

全な避難所を提供する重要な役割があることを説き、情報の在り方について、① 避難準備情報、②避難勧告、③避難指示にわたる3段階の警戒レベルの違いと生命を守るための避難行動について順序立てて説明をしていきました。

なお、既に作成されている「渡内コミュニティ避難所運営マニュアル」を承知している講師は、日ごろから「避難所運営マニュアル」を熟知しておく必要性と、いついかなる場所で災害が発生しても対処出来るようモチベーションを絶えず維持し続けることの難しさを説き、過去に発生した中越及び中越沖地震から学ぶ避難所の問題点に触れ、避難所運営を担う人がケガなどで被災して、避難所に行くことができない場合を想定して①誰が対処するのか、②どのように対処するのか等、問題点の核心に触れ、こうしたら良いのではと救済方法を講師から提起しました。

さらに、過去の自然災害に学ぶとして、中越及び中越沖地震発災後の避難所をはじめ昨年の台風19号による長野県内にある避難所の写真を見て頂きながら、人が安心して避難所生活を過ごすには、プライバシーの保護や懐中電灯の明かりや足音による安眠妨害対策、安全な個室や隔離の場所の設営などの必要性を挙げ、次に避難所生活が長期化した場合の弊害について、エコノミー症候群や更にプライバシーを守る間仕切りの必要性を説き、熊本地震による益城避難所で実際に対策を取った時の「カーテンによる仕切り」や「段ボールベッド」により対策を講じている写真を紹介し、その他に「高齢者や身体障害者への配慮」並びに集団生活上重要な感染症等への予防と蔓延の防止を強調すると共に避難所の暑さ寒さ対策を講じることは、体調不良やストレス解消につながることを説明しました。

また、暑さ寒さ対策用として季節に応じて扇風機や暖房器具を準備したり、体育館にはコンセントが少ないため延長コードの準備、その他に出来るならば避難所に普段使っている布団を持って行くと安心感が高まり、ストレスが軽減できる方法もありますとの提言をすると共に避難所生活において最も大切な排泄について要介護者等への「おむつ」等の準備や「断水トイレ」の話を織り交ぜながら詳細な説明を行い、次に、リラックス効果や衛生面が期待できるお風呂対策について説明しました。

防災講演後半では、避難所の運営について更に配慮する点に触れ、①食料・物資の受け入れ・管理（膨大な量の到着物資による弊害と在庫管理の把握、健康被害対策、アレルギー患者への配慮、乳幼児への液体ミルクの備蓄）、②情報の発信と報道機関対応、③ペットの対策、④ボランティアの受け入れ要領及び留意点をお伝えし、



真剣に取り組む参加者

最後に

災害は必ず忘れた頃に襲ってくる。

～ 忘災は防災の敵である 防災の啓発は永遠です ～

の言葉を残し、本日の講演の締めくくりとしました。

また、※「防災一口メモ」として、自然災害の概要・メカニズム等に関する以下の資料を参考に付けましたので、一読されたいということと、「断水トイレ」をサンプルとして、全員に渡しますのでお持ち帰り下さいとお願いをして持ち時間1時間を余すことなく「防災講演」に費やし、今後の避難所訓練に役立てて頂けることを期待し、会場を後にしました。

※「防災一口メモ」【以下 資料のタイトル】

- ・世界の地震の震源分布
- ・世界で発生する自然災害の内容
- ・日本列島のプレートの状況
- ・愛知県での主な地震
- ・昭和年代で郷土に起きた地震
- ・愛知県の断層①
- ・愛知県の断層②
- ・忘れてはいけない教訓（地震）①
- ・忘れてはいけない教訓（地震）②
- ・世界的な強風の表現
- ・災害とは“風水害”
- ・高潮・高波・波浪の定義
- ・愛知県の主な風水害
- ・忘れられない教訓（風水害）①
- ・忘れられない教訓（風水害）②
- ・東海、東南海地震の震度分布
- ・被害の全貌と避難の在り方
- ・東海地震・南海トラフ巨大地震は来るのか
- ・救える命を増やすために！
- ・災害への日ごろの備え
- ・災害に備えて
- ・自分の命は自分で守る
- ・イザという時のために
- ・災害時、避難への対応
- ・イザという時の助け合い

文責・写真：阿部 健二